

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年1月8日～1月14日)

平成 27 年(2015 年)1 月 16 日

H E A D L I N E S

## 政治

コパチ首相, ポロシェンコ・ウクライナ大統領と電話会談  
 オレクスィ元首相が逝去  
 コパチ首相, コンパニア・ヴェングロヴァ社の経営再建計画を巡り炭鉱労組と協議  
 コパチ首相, パリでの「共和国行進」に参加  
 コモロフスキ大統領, 国家安全保障会議を主催  
 ウクライナのポーランド系住民178名がポーランドに避難

## 経済

クラクフは欧州におけるアウトソーシング部門の誘致先魅力度で第1位  
 1月の政策金利も2.0%を維持  
 2014年の倒産は822社  
 12月の自動車生産は上昇  
 家電製品の環境基準適合状況  
 コンパニア・ヴェングロヴァ社を巡る政府, 労働組合等の動き  
 インドはポーランドとの炭鉱分野での協力に関心

## 大使館からのお知らせ

大使館広報文化センターの開館時間について  
 東日本大震災義捐金受付について  
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館  
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000  
[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内 政

コパチ首相、ポロシェンコ・ウクライナ大統領と電話会談【9日】

9日、コパチ首相は、ポロシェンコ・ウクライナ大統領と電話会談を行い、現在のウクライナ情勢につき意見交換した。コパチ首相は、1月19日にキエフを訪問する意向を表明した。

オレクスイ元首相が逝去【9日】

9日、ユゼフ・オレクスイ元首相が逝去した(享年68歳)。同元首相は、長期間にわたり闘病生活を送っていた。同元首相は、首相及び下院議長等の要職を歴任した左派の重鎮の政治家であった。

コパチ首相、コンパニア・ヴェングロヴァ社の経営再建計画を巡り炭鉱労組と協議【12日】

7日にポーランド政府が発表したコンパニア・ヴェ

ングロヴァ社(KW社)の経営再建計画を関し、12日、コパチ首相が10日から行われていた政府と炭鉱労組との協議に参加した。長時間にわたる協議にて双方が合意に至ることはなかった。コパチ首相は、協議後に、自分は炭鉱労働者の雇用を守るための具体的な提案を持って来た、政府提案はポーランドの石炭セクターの問題を長期的に解決するものであり、我々は同提案が未だテーブルの上にあるという雰囲気の下で交渉の場を離れた旨述べた。

一方、政府のKW社経営再建計画にて閉鎖が予定されている4カ所の炭鉱では、政府の同計画発表以降、労働者が炭鉱内ストライキを継続しており、同ストライキは他の炭鉱にまで拡大し、炭鉱が集中しているシロンスク地方の各都市における抗議活動も拡大している。

## 外交・安全保障

コパチ首相、パリでの「共和国行進」に参加【11日】

11日、コパチ首相は仏における連続テロ事件の追悼行事「共和国行進」に参加した。コパチ首相は、ワルシャワ出発前に、パリでの行進に参加することは自身が自由世界に属していることを示すものである、ポーランドは安全であるが、将来の安全のためには現在困難な状況にある人々に連帯を示すことが必要である旨述べた。

コモロフスキ大統領、国家安全保障会議を主催【12日】

12日、コモロフスキ大統領が国家安全保障会議を招集し、国家安全保障局(BBN)及び国防省等が策定したサイバー安全保障ドクトリン、2015年の安

全保障強化計画における優先課題、仏のテロ事件のポーランドへの影響等につき意見交換した。

ウクライナのポーランド系住民178名がポーランドに避難【13日】

13日、ウクライナ東部の紛争地域のポーランド系住民及びその家族計178名がウクライナ東部のハルキウからポーランド北部マルポルク近郊の軍事空港に飛行機で移動した。ポーランドに到着した最初の避難民のグループは、空港にてピョトロフスカ内務相及びブスヘティナ外相による出迎えを受けた。避難民はポーランド北東部の特別に用意された施設に滞在する予定。

## 経 済

## 経済・財政政策

クラクフは欧州におけるアウトソーシング部門の誘致先魅力度で第1位【9日】

2015年のアウトソーシング部門誘致先の魅力度調査で世界第9位、欧州では第1位となった。世界第1位はインドのバンガロール、第2位はマニラとなっている。ポーランドでは他に、ワルシャワが世界第30位、ヴロツワフが世界第62位となっている。クラクフでは、2014年に100近いアウトソーシング事業に38,000人が従事し、6,000の新規雇用も創出されている。

1月の政策金利も2.0%を維持【14日】

金融政策委員会(RPP)は、月例会合を開催し、1月の基準金利も2.0%を維持することを決定した。デフレ傾向が長期化し、2014年第4四半期の経済成長も消費の低下により鈍化することが見込まれるが、ベルカ中央銀行総裁は、今次デフレ傾向は内需よりむしろ外的要因によるところが大きいとし、更なる利下げには消極的な見解を示している。

## マクロ経済動向・統計

**2014年の倒産は822社【8日】**

2014年通年の倒産件数は822件となり、2012年の941件、2013年の926件から大幅に減少した。2014年の結果は好調な内需を反映したも

のであり、2015年は各企業の事業改革もひと段落し、倒産件数は横ばいか若しくは再び増加すると見られている。

## ポーランド産業動向

**12月の自動車生産は上昇【12日】**

自動車専門調査会社 Samar によれば、12月のポーランドにおける自動車生産は前年同月比20.98%増、前月比14.87%増の39,957台となった。2014年の乗用車・商用車の年間生産台数は578,311台となり、これは前年比0.56%の増加であった。2014年で最も生産された車種はFiat 500で、第2位はフォルクス・ワーゲンのCaddy（商用車）であった。また、ポーランドで生産された乗用車のほとんどが輸出向けであり、国内市場で販売されたのは8,942台であった。

**家電製品の環境基準適合状況【14日】**

競争・消費者保護局（UOKiK）は、ポーランド市場に流通する電気製品のうち約3分の1の電気製品がEUの環境基準に適合していないと発表している。洗濯機、エアコンや照明といった製品について、必要な書類がなかったりラベルが適切になされていないという。貿易検査局（IH）の検査員が規制対象となっている白熱灯やハロゲンランプについて、市場にある1235商品を検査したところ、61%の製品がEU域外で製造されたものであった。

## エネルギー・環境

**コンパニア・ヴェングロヴァ社を巡る政府、労働組合等の動き【10日～12日】**

7日に発表されたコンパニア・ヴェングロヴァ（KW）社の経営再建策を巡る政府、労働組合等の主な動きは次のとおり。

（1）10日から11日にかけて、ポーランド政府代表（コヴァルチク経済省副大臣等）と炭鉱労働組合代表が協議を断続的に実施したものの、交渉はまともならず、コパチ首相が参加し、石炭部門全体について議論することを条件に協議を継続することとなった。

（2）経営再建策にて閉鎖が予定されている4つの炭鉱では、炭鉱労働者によるストライキが行われ、それ以外のKW社が保有する鉱山においても炭鉱労働者がストライキを開始。

（3）コパチ首相は、12日より炭鉱労働者との協議に参加したが、結局合意に達することはできず、協議は継続することとなった。

（4）野党「法と正義」（PiS）は、閉鎖予定の炭鉱を訪問し、政府の再建策を非難するとともに、PiSが政権につけば炭鉱を閉鎖はしない等述べた。

**インドはポーランドとの炭鉱分野での協力に関心【12日】**

インドを訪問したピエホチンスキ副首相兼経済大臣は、インド政府がポーランド企業によるインド炭鉱の安全性向上や近代化等に関する支援について詳細な提案を検討していると述べた。インドのモディ首相、ゴヤル大臣（電力、石炭及び新・再生可能エネルギー担当）と会談した際に石炭部門の協力が話題に上ったという。ポーランド経済省側もポーランドでの研修生受け入れ、機器メンテナンスや採掘技術、インド炭鉱開発に対するポーランドからの投資を柱とする協力案を検討していた。

## 大使館からのお知らせ

**大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

**東日本大震災義捐金受付について**

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成 27 年 3 月 31 日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記 HP をご覧下さい。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm)

## 文化行事・大使館関連行事

**【開催中】ポーランドの日本美術傑作展【11月30日(日)～5月18日(月)】**

クラクフにて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催されます。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されます。

開催場所：クラクフ、日本美術技術博物館 Manggha, ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/exhibition/26>

**【予定】講演会「あなたの知らない日本」【1月22日(木)】**

カトヴィツェ市にて、シレジア大学社会学学術サークル、学術インフォメーションセンター・大学図書館、日本ビジネス・文化センター「イチゴ」共催による『あなたの知らない日本～文化・社会・宗教的な側面からの発見』が開催されます。日本についての講演：旅行者の目で見た日本、日本における女性の役割、茶道、写真展が予定されています。

開催場所：カトヴィツェ市、シレジア大学, Aula im. Kazimierza Lepszego, ul. Bankowa 12

詳細：<https://www.facebook.com/events/384509955044987>

**【予定】講演会「日本人とショパン」【1月23日(金)】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、社会学者博士柴田恭子氏による講演『日本人とショパン』が開催されます。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 584 73 00，Eメール：[info-cul@emb-japan.pl](mailto:info-cul@emb-japan.pl)，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

**【予定】水曜映画上映会「言の葉の庭」と「星の声」【1月28日(水)17:30～】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「言の葉の庭」と「星の声」が開催されます（日本語音声、英語字幕）。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 584 73 00，Eメール：[info-cul@emb-japan.pl](mailto:info-cul@emb-japan.pl)，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

**【予定】オープン新極真「CARPATHIA CUP 2015」【1月31日(土)】**

ジェシュフ市にて、ジェシュフ武道クラブ「システム」主催による空手選手権大会『オープン新極真「CARPATHIA CUP 2015」』が開催されます。

開催場所：ジェシュフ市, Rzeszow University of Technology's Sports Hall, ul. Poznanska 2A

詳細：[www.carpathia.org.pl](http://www.carpathia.org.pl)

**【予定】チャリティーピアノコンサート【2月7日(土)】**

ワルシャワ市にて、日本人アーティストによるチャリティーピアノコンサートが開催されます。

開催場所：ワルシャワ市, I Zbor Kosciola Chrzescijan Baptistow, ul. Walicow 25

**【予定】ロジカル・エモーション—日本現代美術展【2月13日(金)～4月26日(日)】**

クラクフ市にて、クラクフ現代美術館主催による『ロジカル・エモーション—日本現代美術展』が開催されます。13名の日本人アーティスト、建築家、デザイナーによる絵画、彫刻、インスタレーション、写真、映像、デザイン、工芸、漫画、建築等様々なジャンルの作品が展示されます。

開催場所：クラクフ、クラクフ現代美術館, ul. Lipowa 4

詳細：<http://www.mocak.pl/logiczna-emocja-wspolczesna-sztuka-japonska>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。  
[在ポーランド日本国大使館 newsmai@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmai@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)